

# 峰のひかり

発行人

社会福祉法人七峰会

理事長 大平 和夫

〒036-8356  
青森県弘前市大字下白銀町21番地8  
電話 (0172) 33-8861  
FAX (0172) 33-8862



拓心館グループ

## メイクアップ教室開催!

『津軽障害者就業・生活支援センター』では年に4回、「交流会」を開催しています。今回は、利用者さんより「お化粧を覚えたい!」という声が聞こえてきていたということもあり、希望者を対象に「メイクアップ教室」を開催

しました。12月8日『弘前市総合学習センター』を会場に、『資生堂販売株式会社東北支社青森オフィスマ容統括部』より2名のご指導を頂きました。

日頃からお化粧をしていて、より綺麗にという方から、お化粧の経験がない方まで様々。皆さん、始まる前からそわそわ、各テーブルのカラフルなお化粧道具に興味津々でした。

プロの方のお話は、利用者さんだけでなく職員にとっても、大変勉強になります。化粧水の付け方からアイシャドーの使い方までとても分かりやすく説明して頂き、利用者さんは、真剣な表情で鏡に向かっていました。難しいところは講師の方に手伝って頂き、皆さんどんどん綺麗になります。最後の仕上げにチークをのせると、ま



るで別人のよう。お互い顔を見合わせてビックリしていました。綺麗になった自分たちを見て幸せそうな笑顔が、より一層お化粧を引き立たせています。

皆さんからは、「難しかったけど勉強になった。」「今度はアイライナーも使ってみたい!」との感想が聞かれています。これからも利用者さんからの声を大切にし、ニーズに合った「交流会」を行っていきたいと思います。

障害者支援施設 拓光園グループ

「リサイクル門松」で新年を

『拓光園生活介護事業所』では、活動の一環としてリサイクル活動に取り組んでいます。これまで空き缶潰しや使用済みのロウソクを使用したのキャンドル作り、古新聞等を利用してのクリスマスツリー製作等の活動を行ってきました。今回は新年を迎えるにあたり、廃材利用の「リサイクル門松」を製作することにしました。

まず、廃材の回収です。牛乳パック、段ボール、日々の活動で使用しなくなった教材など、様々な廃材が集まりました。

いよいよ製作です。作業工程を組み、利用者の皆さんで分担します。段ボールが思い通りの形にならず、悪戦苦闘する利用者さんもいましたが、他の利用者さんや職員との協力を得ながら一生懸命に作業されていました。利用者の皆さんは「難し



いけど楽しい。」や「どんな門松になるべ。」と話し、初めての門松に手こずりながらも楽しんでいました。完成した門松を玄関に飾り、一言。「立派だ門松出来たな。」皆さんが想像していたものよりも見事な門松が出来上がりました。事業所では、身近なものを活用して製作活動をし、創造性が高められるような支援を行っていききたいと思っています。

障害者支援施設 山郷館グループ

午年に響け！ スコップ三味線

1月15日、『山郷館』の2014年を飾る初行事「新年会」が行われました。当日は、利用者さんの年女3名（年男はいませんでした）の紹介の後、利用者代表の長内さんの乾杯で幕開けしました。特製弁当は、メニューも豊富で、とても美味しいと好評でした。

そして、今年の新年会の目玉である「スコップ三味線の演奏」です。奏者は、五所川原市のスコップ三味



線奏者で、観光PR大使や各方面でご活躍の小山内文明氏です。三味線演奏の迫力に圧倒されながら、大いに盛り上がりました。後半の合同演奏には、多くの利用者さんが参加し、からだ全体で演奏を表現し、全員が一体となりました。参加者から「だれでも参加できるし、またやりたい。」という声や、自然にからだ動き、生き生きとした表情がとても印象的でした。

「鑑賞して楽しむ行事から、参加して楽しむ行事へ」館内は賑やかなスコップの音色が響き渡っていました。



## 障害者支援施設 旭光園グループ

## 旅の好きな「乗り鉄」マン

今回ご紹介させて頂くAさんは、製袋作業で活躍されておりますが、何と言っても行動力がすごい方です！

弘前市の自宅から平川市（旧尾上町）まで、雨の日も風の日も毎日休む事無く自転車で通所されておりますが、そんな事は「当たり前」といった感じですよ。

さて、彼のすごい行動力とは何かと言いますと、長期休暇の時期を利用して一人で旅行を楽しんでいる事です。

電車の時間を調べ、宿泊先のホテルの予約も入れて日本全国を旅しています。

ある夏休みの旅行は、「弘前駅から電車に乗り秋田県の大館駅で下車し、そこから歩いて隣の北秋田市の鷹ノ巣駅（車でも30分位かかる距離）まで行ってきた。」と笑顔で話してくれました。

各駅停車の列車での旅が好きな「乗り鉄」のAさん。  
今年も楽しい旅を計画しているそうです。

## 倉庫兼会議室が完成しました！

物置用プレハブの老朽化対策と業務の円滑化を図るため、裏庭（以前プレハブのあった場所）へ倉庫兼会議室の新築工事を行ってりましたが、昨年12月末に完成しました。

内部はとても広く、備品や私物等たくさんの荷物が収納可能なスペースです。

広い倉庫・快適な会議室を今後、有効に活用していきます。



## 障害者支援施設 山郷館くろいしグループ

## カレンダー作り

年末最後の活動に、カレンダー制作があります。

日々の生活の中の写真を皆で見るところから始まります。「ああ、こんなこともあった。」「行事で食べたお寿司、美味しかったね。また食べたい。」等々思い出話に花が咲きます。写真を眺めていると、時間があつという間に過ぎて、カレンダーに載せる写真がなかなか決まりません。

カレンダー制作は、一年を振り返り、来年の抱負を語り合える時間を持つことを目的に開設当初から続いています。

2014年のカレンダーも、曆をめくるたびにユニットで生活してい



る10人のモデルが、様々な表情を見せます。曆には、自分たちの誕生日をしっかりと記入し、ひと目で誰が、いつ誕生日を迎えるのか分かるようになっていきます。

「来年こそは、ダイエツトー」と、新たな年に向けて誓いを立てた人もいました。

カレンダー作りに参加出来ない方々には、新年への一步を踏み出すという意味で「足型」を取っていただき、担当職員が本人の気持ちを代弁して色紙に残しています。

私たち職員も、利用者の皆さんの目標や夢が実現できるように、しっかりと受け止めて支援していきたいと思えます。



